

## 豊浦中学校

青木 朗衣

「平和」その言葉がどれだけ大切かを平和  
 記念式典で感じ、深く考えさせられました。  
 今から72年前の8月6日に一発の核兵器、  
 原子爆弾が戦争により広島に落とされました。  
 その核兵器原爆は、一瞬で多くの人が命  
 、建造物、自然、家族、多くのものを奪い去  
 りました。そして広島は無残な姿へとなりま  
 した。かろうじて生きながる人々は、死  
 体を踏み越え水を求めて歩きまよい、辛い  
 思いをしたそうです。原爆の近くで被爆した  
 人はとても人間の姿ではなく、皮膚はぼろぼ  
 ろに剥けてぶら下がり、お化けのような姿だ  
 ったそうです。私も資料館で多くの写真や遺  
 品を見て、原爆の恐ろしさや当時の状況をよ  
 く知ることになりました。溶けて変形した瓶  
 や瓦、人の影が焼き付いた壁、8時15分で止  
 まった時計、そのすべてが僕に悲しみや残酷  
 さを語りかけてきました。そして72年たっ  
 今でも苦しんでいる人がいます。

戦争により一発の原子爆弾が落とされた広

島は、草木も生えないだろうと言われている。なかで二度とあの非心劇を繰り返さないと言う市民の強い思いで中核都市にまで発展しました。現在、被爆者の高齢化で原爆のことを語り伝えることが難しくなっています。だからこそ私たちが次の世代へと継ぐことが大切になります。

今日なお、紛戦等の争いが起きている国はあります。私達はその事実をし、かり受け止め核兵器廃絶を折えなければいけません。これかすも平和であるために。

青木朗衣